

ログハウス・メンテナンス工事中です！



今月中旬よりログハウスのメンテナンス工事をさせて頂いております。〇様、ご依頼して頂き、誠にありがとうございます。

〇様は10年以上前からのお客様です。こうしてまたお声をかけて頂ける事は、本当にありがたい事で心より感謝致します。

ログハウスは木材が外部に接している為、定期的に防虫・防腐処理の為にキシラデコール等の防虫防腐塗料を塗装しなければ

劣化等の原因となります。今回はその工事をメインにさせて頂いております。築11年との事で今回は破風板や板金部分や

化粧枠等の塗装工事もさせて頂いております。連日の台風等で雨の日が続いておりますので、工事も雨の日は中止・・・(汗)

それにしても、メンテナンスにお金は掛かりますが、ログハウスもお洒落ですよ～♪この空間だけ異国に来たような感じです。

素敵な家の工事にたずさわられて私もテンションが上がります！(笑)工事状況等は私のブログにてUPさせて頂いておりますので

よかったら見て下さいね～♪それにしても今年は台風の被害がとても多いので今後も注意が必要ですね！

皆様も気を付けて下さいね。家の事で何かありましたら私が飛んで行きますので、よろしくお願い致します～す！

SK
加古川
通信

第81号
平成25年10月
SKグループから版
御用聞き
白矢公一

SKグループ(株)創美建築企画
本社 京都市伏見区南寝小屋町53番地
WILLHOUSE
兵庫支店加古川支社
加古川市加古川町粟津771の11

絆
願・日本復興
白矢公一

楽しかった♪田舎の家でのBBQ大会！



9月28日、完成した「古民家再生プロジェクトin田舎の家」でのBBQ大会をさせて頂きました！お集まり頂いたお客様、本当に楽しい時間を過ごさせて頂き、ありがとうございました！日程が合わなかったお客様、本当にごめんなさいm()m兵庫県粟粟市千種町と言う事もあり、加古川からは、ちょっと交通に不便ではございますが、なかなかのどかで良い所ですよ(^)ちょうど秋口と言う事もあり、柿も収穫出来て、私の親父はお客様のお子様を連れて栗拾いなどを楽しみ事が出来ました。地元の川魚のアマゴも買って来てお子様は魚つかみも体験！塩焼きにして食べました～！子供達はすぐに仲良くなって一緒に遊んでいて、そんな姿にとても幸せな気持ちになりました。私の親父もたくさんの孫が出来たと大変喜んでおりました！(笑)それにしても数年前までは、まさかこんな形で田舎の家を活用出来るようになるなんて、夢にも思っておりませんでした。お客様に喜んで頂けて本当に良かったです！(^)また、来年からも恒例行事として「お客様大感謝祭BBQin田舎の家」と言う事で開催させて頂きたいと思っておりますので、今回ご参加頂けなかったお客様も来年は是非ご参加下さい！内容はブログにて記載させて頂いておりますのでよかったですら見て下さいね～♪本当に楽しくて幸せな時間をありがとうございました。心より感謝致します。

御用聞きのひとりごと・・・

今年も11月8日より関空入り、9日よりカンボジアに本社の大西会長と共に行って参ります。今回で15回目の訪問となりますがNPO法人アジア子供輝基金の第1回目のスタディーツアーとなり、私達を含め、15名の方々が参加されます。

そして、今回は輝基金の理事長である倉橋氏の関連会社様や、ご支援下さる企業様からたくさんの衣類等のご支援を頂きました。OBのお客様にもご支援頂き、本当に心より感謝しております。頂いた衣類等は各種類別に分けさせて頂いて今回は300キロ分をカンボジアに持って行かせて頂く事になりました。こんなにたくさん支援して頂けるなんて本当に夢のようで感動致しました。趣旨としましては、運営支援をしているカンボジアのSKO孤児院の自立です・・・支援金を頂ける事は本当にありがたいです。毎年毎年、本当にありがたい事で本当に心より感謝しておりますが、いつまでも続く事ではありませんし、私達も永遠に生きている訳ではありません・・・しかし、まだまだ支援金に頼らなければどうしようも無いのが現状です・・・

私自身も決して裕福と言う訳ではありませんが、必要として頂ける以上は自分の出来る事をしていくまでです・・・

今年から動いているプロジェクトとして、支援して頂いた衣類等をカンボジアに持って行かせて頂いて、店舗を構えて売りその売上金をSKOの運営費にしようとしております。どの程度売り上げが見込めるのかは、まだやっていないのでわかりませんが今回の支援活動で店舗を決めて来る予定です。お店の管理はSKOの卒業生や大学に通学中の子供達が交代でやります。

今回のプロジェクトがうまく行けば、運営費だけでなく、仕事が少ないカンボジアでSKOの子供達の雇用が生まれます。

仕事が無ければ作るしかない・・・そして自分達の力で生きて行く事も学ばなければなりません。そのきっかけになればと思います。

カンボジアの国内内戦が終わってから30年以上経っていますが、都会は別にして田舎の方はほとんど状況が変わっていません・・・

戦後500万人だった人口は1500万人近くにまで増えています。つまり・・・30代以下の人口は1000万人近くいる事になります。

人口比率で考えると凄く若い人が多い国と言う事になります。そんな中でSKOの子供達も含まれている訳です。子供達の将来の事も

しっかりと考えた上で、何が必要で何が大切なのか・・・私達、大人がしっかりとして現在、平和で豊かな日本の国で生まれ育てさせて

頂いた者として、自分の出来る限りの事をさせて頂きたいと思っております。それが「最初の第一歩」と言う事で・・・

こうして色々な活動に参加させて頂けるのも、全てはご理解・ご支援・ご協力して下さる皆様のお蔭です。本当に心から

感謝しております。活動内容は帰国後、ブログやSK加古川通信にてご報告させて頂きます。帰国は17日の予定となっております。

今回も無事に帰って参ります。お志事も今まで以上に日々精進致しますので、今後共よろしくお願致します。



御用聞き しらや こういち